

# 社会資本総合整備計画

みやもり宮守まちなか<sup>さいせいちく</sup>再生地区都市再生整備計画

岩手県 とおの遠野市

当 初 平成27年1月  
第1回変更 平成31年1月

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成31年 月 日

計画の名称										宮守まちなか再生地区都市再生整備計画		重点配分対象の該当																					
計画の期間					平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象		岩手県、遠野市																					
計画の目標																																	
自然豊かで快適な住環境の形成と地域資源を活用した魅力あふれるまちづくり ・自然あふれる快適な住環境整備による人口定住の促進 ・地域資源を活用した観光と交流のまちづくりによる地域の活性化																																	
計画の成果目標（定量的指標）																																	
・地域内人口の減少率を -1.25%/年（H25）から -0.16%/年（H31）に向上 ・銀河ステーションS Lプラザの利用者数を 62,480人/年（H25）から68,900人/年（H31）に向上																																	
定量的指標の定義及び算定式																																	
地域内人口減少率を算出。 整備エリア内（宮守町第4区、宮守町第5区）の事業実施前5年間の人口減少率と実施5年間の人口減少率により算出する。 銀河ステーションS Lプラザの利用者数を算出。 銀河ステーションS Lプラザ内の資料スペース、めがねばし直売所の利用者数により算出する。										定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
										当初現況値 (H25末)	中間目標値 (—)	最終目標値 (H31末)																					
										-1.25%/年	—	-0.16%/年																					
全体事業費										合計 (A+B+C+D)		158.0百万円		A		158.0百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)		0%	
交付対象事業																																	
A 基幹事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																
									H27	H28	H29	H30	H31																				
A-1	都市再生	一般	遠野市	直接	遠野市	宮守まちなか再生地区都市再生整備計画	宮守駅前トイレ等 182ha	遠野市						158																			
														合計		158																	
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																
														合計																			
C 効果促進事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																		
														合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																		
														合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考																	

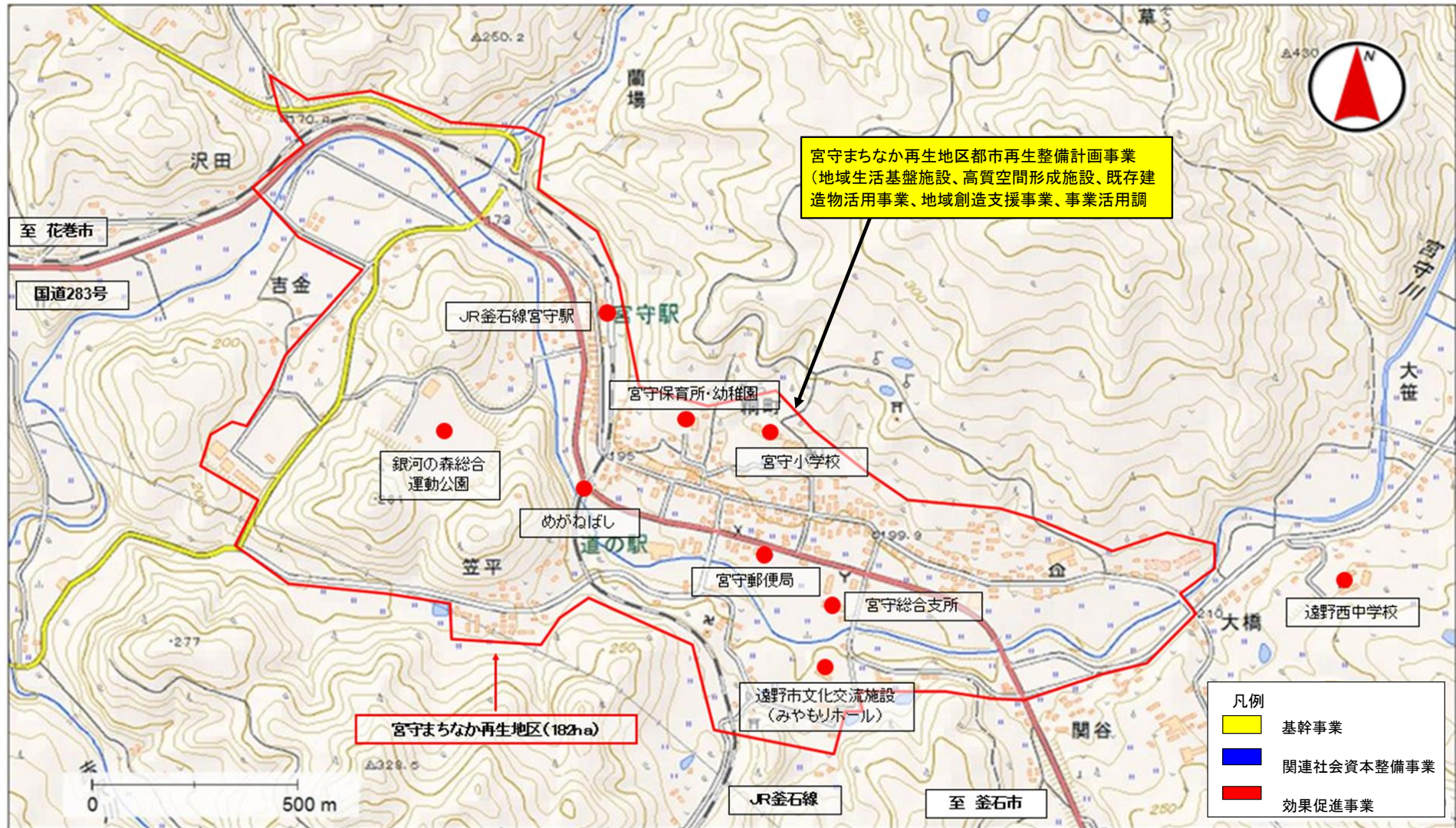
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	14	45	0	0	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	14	45	0	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	14	45	0	0	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	

(参考図面)

計画の名称	宮守まちなか地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度(5年間)	交付対象	岩手県遠野市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:宮守まちなか再生地区都市再生整備計画 事業主体名:遠野市

チェック欄	
<b>I. 目標の妥当性</b>	
<b>①都市再生基本方針との適合等</b>	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<b>②地域の課題への対応</b>	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
<b>II. 計画の効果・効率性</b>	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
<b>④事業の効果</b>	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
<b>III. 計画の実現可能性</b>	
<b>⑤地元の熱意</b>	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

# 都市再生整備計画

みやもり  
宮守まちなか<sup>さいせいちく</sup>再生地区

いわて 岩手県 とおのし 遠野市

当 初 平成27年1月  
第1回変更 平成31年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岩手県	市町村名	遠野市	地区名	宮守まちなか再生地区	面積	182 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

<b>目標</b> 自然豊かで快適な住環境の形成と地域資源を活用した魅力あふれるまちづくり ・自然あふれる快適な住環境整備による人口定住の促進 ・地域資源を活用した観光と交流のまちづくりによる地域の活性化							
<b>当初</b> 平成27年1月 第1回変更 <b>目標</b> 平成31年1月							
<b>まちづくりの経緯及び現況</b> ・遠野市は、続日本紀などによると、蝦夷の時代から集落が営まれ、その後安倍氏、藤原氏などの時代を経て、鎌倉時代には阿曾沼氏の時代を迎えた。藩政時代には遠野南部藩1万2千石の城下町として、また内陸部と沿岸部を結ぶ宿場町として栄えた。 ・少子高齢化社会が到来し地方分権が推進される中、効率的な行財政運営により地域特性を活かした自主的なまちづくりを進めるため、平成17年10月1日に旧遠野市と旧宮守村が合併し人口約31,000人の新「遠野市」誕生した。新市まちづくり計画に掲げた「2つの個性が融合し、躍動する、新しい遠野郷の創造」の理念を活かしながら、市民と行政の協働によるまちづくりを目指している。 ・本地区は、宮守町(旧宮守村)の中心街であり、行政、医療、福祉、教育機関など主要公共施設が半径1キロメートル以内に密集する地域であるとともに、宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」を彷彿させる半円アーチ状のJR釜石線宮守川橋梁である「めがね橋」などの観光資源を有する地域である。また、JR釜石線及び国道283号が東西に横断して沿岸部と内陸部の中間に位置した交通の要衝であり、県央の中核都市へも車で通勤可能な地理的条件(花巻市へ30分、北上市へ40分、盛岡市へ60分)にある。 ・住民が中心となって観光資源である「めがね橋」をライトアップするなど地域資源の魅力向上に取り組んできたほか、銀河の森総合運動公園や文化交流施設である「みやもりホール」をこれまで整備し、自然環境を活かした健康で文化的な豊かな暮らしの創出に取り組んできた。 ・しかし、急速な少子高齢化のなかH17国勢調査で5,147人であった宮守町の人口が平成26年7月末現在で4,627人となり10.1%減少しているほか、高齢化率も36.1%から37.4%に増加している。また、地域のシンボリック的存在であった県立遠野情報ビジネス高校が高校再編により平成22年3月に閉校となったほか、「東北横断自動車道釜石秋田線」の一部開通によって交通の流れが大きく変わったため国道283号の交通量が約3割減少し、めがね橋に隣接する産直施設「めがねばし直売所」、商業施設「みやもり商業開発協同組合」の売り上げが落ち込むなど地域経済の衰退が深刻となった。 ・そのため、少子化対策及び子育て支援の総合的な推進を目的に「子育てするなら遠野推進本部」を設置し、若者定住対策や子育て住環境整備の促進を推進している。また、JR東日本から発表されたJR釜石線SL定期運行計画に併せ、地域振興及び交流人口の拡大を図ることを目的に「SL停車場プロジェクト推進室」を設置するとともに、めがね橋周辺施設の再整備を図るため「まちづくり再生担当」の組織を立ち上げ、JR東日本が運行するSL銀河と運動したまちづくりを推進することとしている。 ・県央の中核都市へも通勤可能な地理的条件を活かし、子育て住宅等を整備することで地域内人口の減少を抑制するとともに、遠野市の西の玄関口として鉄道愛好家や観光客向けに宮守町をはじめとした遠野市の魅力を発信する拠点、地域の方々も日常的に集い親しまれる交流拠点を整備することで、地域内の集客力向上による地域経済の振興を図るとともに、地域資源等を活用したまちづくりを展開し地域の活性化を図る。							
<b>課題</b> ・少子高齢化に伴う地域内人口の減少による地域コミュニティの維持が課題となっている。 ・保育所や幼稚園、小学校に隣接した民間経営賃貸住宅が乏しく、今後も民間による投資が望めない状況にあることから、子育て世代の住環境整備が課題となっている。 ・地域内を東西に横断する国道283号の交通量が減少したことによる地域経済の衰退が課題となっている。 ・H26年4月から開始されたJR釜石線のSL定期運行によってめがね橋を訪れる観光客が期待できる状況にあるが、地域内に点在する地域資源の魅力をまちづくりに活かしきれていない。							
<b>将来ビジョン(中長期)</b> 平成18年に策定した遠野市総合計画に位置付けられている「快適な住環境の形成」と「観光と交流のまちづくり」の実現を図る。							
<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
地域内人口の減少率	%/年	関連行政区内(宮守町第4・5区)における事業実施前5年間の人口減少率と実施5年間の減少率	快適環境の形成による人口定着	-1.25%/年	-0.16%/年	H25	H31
銀河ステーションSLプラザの利用者数	人/年	銀河ステーションSLプラザ内の資料スペース、めがねばし直売所の利用者数	拠点施設の整備により増加する資料スペース、めがねばし直売所の利用者数	62,480人/年	68,900人/年	H25	H31

## 都市再生整備計画の整備方針等

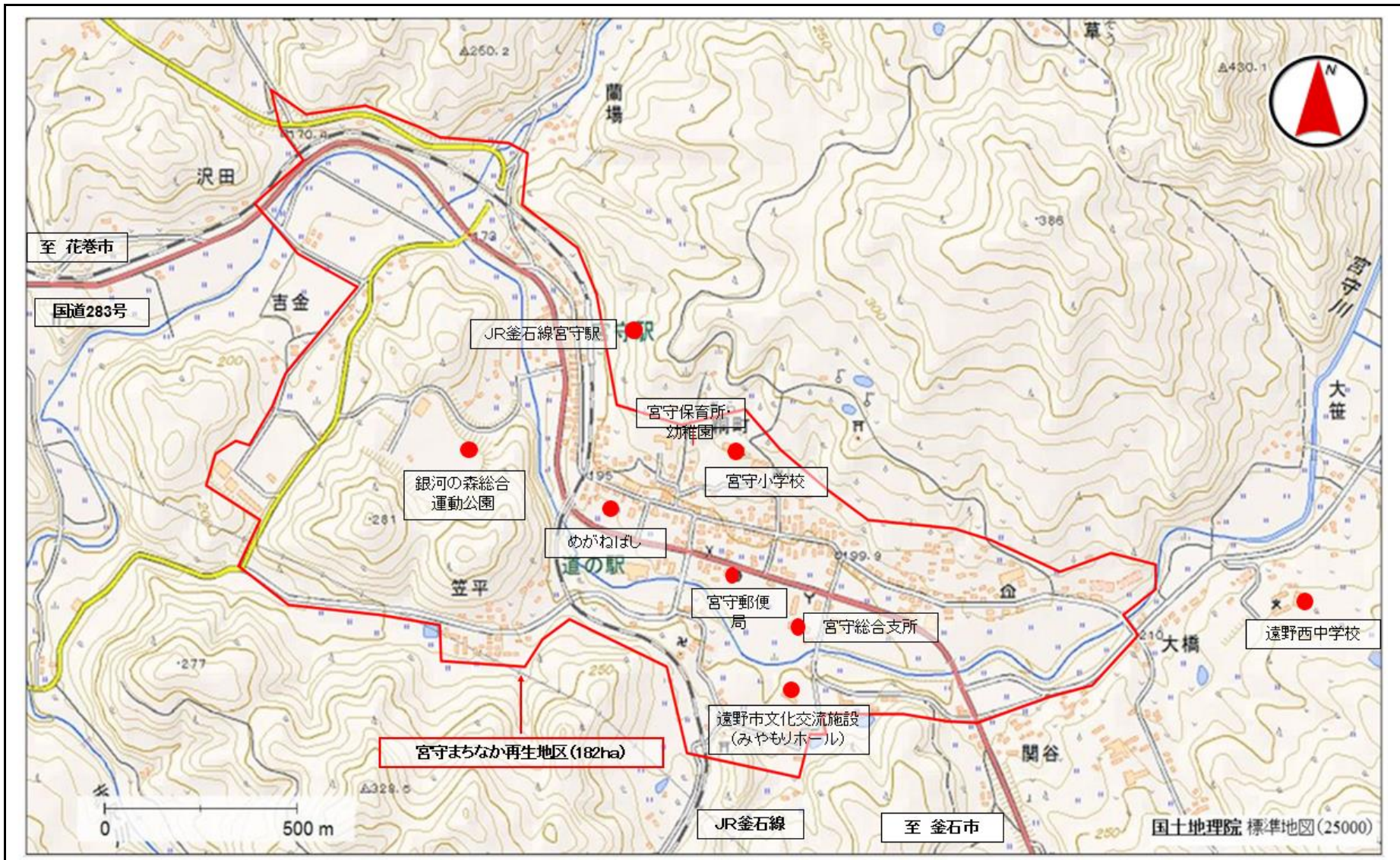
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(快適な住環境の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮守子育て支援住宅の整備に併せて、子育て広場の整備や市道あら町線の改良を行うことで快適な住環境の実現を図り、地域内人口の減少を抑制する。</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮守子育て支援住宅整備</li> <li>市道あら町2号線道路改良事業</li> <li>宮守保育所・幼稚園整備</li> </ul>
<p>整備方針2(地域資源を活用した観光・交流のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銀河ステーションSLプラザを整備し、地域コミュニティの活性化を図りながら観光客誘致の促進を図る。</li> <li>宮守駅前広場・観光情報案内板を整備し、地域資源の掘り起こしを行い、観光客の回遊性を高める。</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設(情報板):観光情報案内板整備</li> <li>高質空間形成施設(公衆トイレ):宮守駅前トイレ整備</li> <li>既存建造物活用事業:銀河ステーションSLプラザ整備</li> </ul> <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業: <ul style="list-style-type: none"> <li>めがね橋ライトアップ用照明整備</li> </ul> </li> </ul> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めがね橋周辺賑わい創出事業</li> <li>宮守駅前広場整備</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遠野スタイルによるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>当市がまちづくりの基本理念として掲げる「遠野スタイルの創造」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野スタイル・・・「地域の特性や資源を活かすこと」、「市民が主体性を持つこと」、「自分のまちをより良くしようと行動すること」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりは終わりのない市民運動そのものであることから、関係機関のみならず地域住民、市外の遠野ファンを巻き込み、PDCAの検証を常に意識しながら目標達成に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○SL停車場プロジェクトによるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>JR東日本が運行するJR釜石線SL銀河の運行に併せて、観光客へのおもてなし、SL関連商品の開発、乗り降り自由の巡回型観光ジャンボタクシー「遠野くるりん号」などに取り組む。</li> </ul> </li> </ul>	





都市再生整備計画の区域

みやまもり さいせいちく いわてけんとおのし 宮守まちなか再生地区(岩手県遠野市)	面積	182 ha	区域	遠野市宮守町下宮守区域の一部(下宮守26~33地割内)
--	----	--------	----	-----------------------------



みやもり さいせいち く いわてけんとおのし  
宮守まちなか再生地区(岩手県遠野市) 整備方針概要図

目標	自然豊かで快適な住環境の形成と地域資源を活用した魅力あふれるまちづくり ・自然あふれる快適な住環境整備による人口定住の促進 ・地域資源を活用した観光と交流のまちづくりによる地域の活性化	代表的な指標	地域内人口の減少率 ( %/年 )	-1.25 (25年度) → -0.16 (31年度)
			銀河ステーションSLプラザの利用者数 ( 人/年 )	62,480 (25年度) → 68,900 (31年度)
			( ) ( 年度 ) → ( 年度 )	

